

令和7年度 岩手県立大学 公開講座

受講生
募集!

地域に未来に
多様なアーチを

地域課題から考える
未来のデザイン

7.19[±]

岩手県立大学宮古短期大学部
宮古キャンパス
大講義室

〒027-0039 岩手県宮古市河南1-5-1

7.26[±]・8.2[±]

岩手県立大学
滝沢キャンパス
共通講義棟 講堂

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52

受講料 無料 3講座以上受講した方に、修了証を発行します。

定員 各講座200名 定員に達した時点で、募集を締め切ります。

申込締切 7.10^木 事前の申込が必要です。申込方法は裏面に記載。

7.19[±]

宮古
キャンパス

10:15~10:20 開講式

講座①
10:20~11:50
地域課題解決から導かれる
地域の将来像
学長 鈴木 厚人

講座②
13:00~14:00
津波被災地の大学生による地域学習
— フォトボイスを用いた
地域の魅力と課題の発見 —
宮古短期大学部 准教授 河野 暁子

講座③
14:30~15:30
学びは未来への投資
— 大学進学価値を考える
高等教育推進センター 准教授 呉 書雅

15:30~15:35 閉講式

7.26[±]

滝沢
キャンパス

10:15~10:20 開講式

講座④
10:20~11:50
地域課題解決から導かれる
地域の将来像
学長 鈴木 厚人

講座⑤
12:50~13:50
孤立・孤独ってなんだろう?
～ごみ屋敷・セルフネグレクト
などを通して見える地域の課題～
社会福祉学部 講師 高木 善史

講座⑥
14:20~15:20
夫婦協同育児ってナニ!?
— 二人で作る「いい塩梅」の
協力体制に必要なこと—
看護学部 准教授 金谷 掌子

8.2[±]

滝沢
キャンパス

講座⑦
10:00~11:00
ESGの曲がり角
— 企業経営、資本市場の
持続可能性に対する
法の役割、限界、そして展望 —
総合政策学部 准教授 伊藤 浩紀

講座⑧
11:30~12:30
情報技術とデータの活用による
地域資源の新たな価値創造
～岩手県内での取り組み事例から～
ソフトウェア情報学部 教授 阿部 昭博

講座⑨
13:15~14:15
学びは未来への投資
— 大学進学価値を考える
高等教育推進センター 准教授 呉 書雅

講座⑩
14:45~15:45
和菓子は歴史の宝庫である
— わらび粉の希少性と課題 —
盛岡短期大学部 教授 長坂 慶子

15:45~15:50 閉講式

公開講座タイアップ CAカフェ開催!

皆さんの疑問や悩みにお答えします!
カフェのような空間で現役大学生とお話してみませんか?

7.26[±] 12:00~16:00 8.2[±] 10:00~16:00



Instagram



X (旧 Twitter)



地域に未来に多様なアーチを

岩手県立大学

Iwate Prefectural University

お問合せ・お申込み

岩手県立大学 研究・地域連携室 〒020-0611 岩手県滝沢市菓子152-89

TEL:019-694-3330 FAX:019-694-3331

E-mail: koukaikouza@ml.iwate-pu.ac.jp

WEBでのお申込みはこちらから





開講にあたって 岩手県立大学 学長 鈴木 厚人

岩手県立大学では、開学以来、大学の教育・研究の成果を広く社会に還元し、県民の皆様の多様な学習ニーズに応えるとともに、地域社会の文化の発展に貢献することを目的として毎年、公開講座を開講しています。

今年度は「地域に未来に多様なアーチを～地域課題から考える未来のデザイン～」と題し、学内の教員による専門的な立場からわかりやすい話をいたします。本講座が、受講される皆様にとって、地域や未来を考え、行動する架け橋となれば幸いです。どうぞお気軽に御参加ください。



講座概要

講座 ① ④ **地域課題解決から導かれる地域の将来像**

地域の持続的な発展のために以下の課題を検討します。

- ・地域の課題と大学の社会的責任の使命を持つ岩手県立大学
- ・地方創生により地域社会の底力を生み出す
- ・少子高齢化社会とその先(長寿、65歳以上就業率、子育て支援日本一の岩手県)
- ・SDGsと地域循環共生圏の実現
- ・人間社会の必然の進化に対する未来のデザイン:超スマート社会

学長 鈴木 厚人

講座 ⑥ **夫婦協同育児ってナニ!?**
— 二人で作る「いい塩梅」の協力体制に必要なこと —

子育てが始まった夫婦は、それぞれが親になることと同時に、親として夫婦2人の協力体制を築くという人生最大のプロジェクトに着手し始めたといえます。そんな夫婦を待ち構えているのは、パートナーとの人間関係に苛まれる日々です。この状況から脱出する方法について、研究事例や子育て支援の実践を通してお話をします。

看護学部 准教授 金谷 掌子

講座 ② **津波被災地の大学生による地域学習**
— フォトボイスを用いた地域の魅力と課題の発見 —

宮古短期大学部は東日本大震災被災地に立地する、岩手県で唯一の大学です。学生の中には震災を経験した者も、震災について学びたい者もいます。そんな彼らがともに地域へ向き、フォトボイスという写真と語りを用いた手法を通じて、地域を理解する取り組みを行ないました。その過程で彼らが気づいたことをご紹介します。

宮古短期大学部 准教授 河野 暁子

講座 ⑦ **ESGの曲がり角**
— 企業経営、資本市場の持続可能性に対する法の役割、限界、そして展望 —

企業経営、資本市場を取り巻く環境が国内外で大きく変化する中で、企業、投資家によるESG(Environment[環境]・Society[社会]・Governance[企業統治])の取組みも、曲がり角を迎えています。本講座では、地域・国際社会の発展の担い手たる企業、資本市場の持続可能性のために法が果たすべき役割、限界を検討し、将来に向けた展望を考えます。

総合政策学部 准教授 伊藤 浩紀

講座 ③ ⑨ **学びは未来への投資**
— 大学進学を考える —

岩手県の大学進学率は全国でも低く、「大学なんて無駄」という声も聞かれます。確かに学費はかかりますが、大学での学びは「将来への投資」です。そのリターンは本人だけでなく、地域や社会全体にも広がります。様々なデータや研究を紐解き、改めて、大学進学を考える価値を考えてみましょう。

高等教育推進センター 准教授 呉 書雅

講座 ⑧ **情報技術とデータの活用による地域資源の新たな価値創造**
～岩手県内での取り組み事例から～

本講座では、GIS等の情報技術とデータの活用によって地域資源の新たな価値創造を目指した実践的研究事例について紹介します。具体的には、岩手県内の文化遺産などを対象として観光振興や文化継承、地域づくりへの貢献を目指した取り組みについて、これまでの成果と今後の課題についてわかりやすく解説します。

ソフトウェア情報学部 教授 阿部 昭博

講座 ⑤ **孤立・孤独ってなんだろう?**
～ごみ屋敷・セルフネグレクトなどを通して見える地域の課題～

現代社会では、高齢者だけでなく若い世代でも「孤独」や「孤立」を感じる人が増えています。この状態が続くと、周囲との交流が減り、ごみ屋敷やセルフ・ネグレクト、健康問題などにもつながります。地域での調査をもとに、誰もが孤立・孤独になりうる背景を知り、支え合える地域のつながりづくりについて考えます。

社会福祉学部 講師 高木 善史

講座 ⑩ **和菓子は歴史の宝庫である**
— わらび粉の希少性と課題 —

2020年頃から、若者を中心に「わらび餅のスイーツ」が流行しています。このわらび餅は何時頃から食べられ、原料のわらび粉はどこでどの様に作られているのでしょうか。意外にも岩手県は数少ないわらび粉の生産地でもあります。本講座では、文献調査からわかったわらび餅の歴史とわらび粉の製造について報告します。

盛岡短期大学部 教授 長坂 慶子

申込方法

- 事前の申込が必要です。
- 令和7年7月10日(木)までに、右記二次元コード又ははがきやFAX、電子メールにて必要事項を御記入の上、申込み先までお申込みください。
- 開催日の3日前までに受講案内が届かない場合、事務局までお問い合わせください。
- 御記入いただいた個人情報は十分に注意を払って管理し、講座の運営のために使用します。また、本学から各種講座の御案内をさせていただきます。



- 感染症予防の観点から、当日、体調に不安がある場合や、発熱、せき、のどの痛みなどの症状が見られる場合には、参加を御遠慮ください。
- 手話通訳(無料)を希望される場合や、特別な配慮(車椅子用駐車場等)が必要な場合は、申込に併せてお申し出ください。

お問合せ

岩手県立大学 研究・地域連携室
〒020-0611 岩手県滝沢市菓子152-89
TEL : 019-694-3330 FAX : 019-694-3331
E-mail : koukaikouza@ml.iwate-pu.ac.jp

公開講座を岩手県立大学公式YouTubeチャンネルで受講できます!



岩手県立大学
<https://www.iwate-pu.ac.jp/>



申込用紙

必要事項をご記入の上、チラシのままFAXするか(FAX019-694-3331)切り取ってはがきに貼付してご郵送ください。

- 受講希望講座に○印をつけてください。複数講座の申込ができます。

7.19 ±	講座 ①	講座 ②	講座 ③	
7.26 ±	講座 ④	講座 ⑤	講座 ⑥	
8.2 ±	講座 ⑦	講座 ⑧	講座 ⑨	講座 ⑩

●氏名(ふりがな)

歳 男・女

●住所 〒

●電話番号

●職業(学生は学校名・学年)

●E-mail

@

●利用交通手段

●これまでの受講の有無

有・無

●備考(事務局への連絡事項等)

キ
リ
ト
リ